

《著者紹介》

松谷昇蔵（まつたに・しょうぞう）

1988年 神奈川県横浜市生まれ。

2023年 早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

現 在 日本学術振興会特別研究員 PD、東京大学先端科学技術研究センター特別研究員。

著 作 「明治中後期における文部官僚の欧米派遣——官僚のキャリアと政策課題」『日本歴史』904号、2023年9月。

「明治期教育雑誌における文部官僚の評価——『教育時論』・『教育報知』を中心に」早稲田大学史学会『史観』第184冊、2021年3月。

「西村茂樹と文部省・編輯局」日本弘道会『弘道』第1128号〔2020年9-10月〕・第1129号〔同年11-12月〕〈西村茂樹研究論文入選論文（最優秀）〉。

「文官高等試験実施初期における文部省の官僚任用——文部官僚像の再検討」『日本史研究』697号、2020年9月。

「官僚任用制度展開期における文部省——文部官僚と専門性」『史学雑誌』第126編1号、2017年1月、ほか。